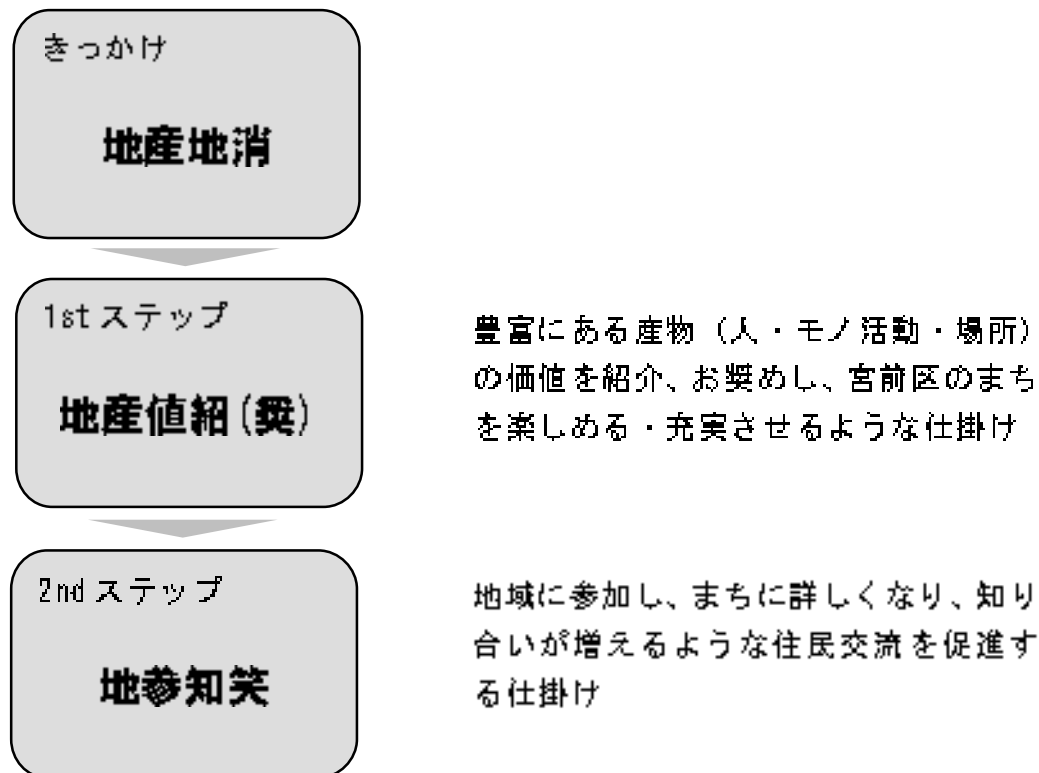


2) ちきんちしょう 地産知笑部会

■審議テーマの設定

地産地消から連想する農産物に限らず、幅広い意味で地域の産物を活かし、地域の魅力を知り、地域社会への参加につなげるための取り組みを審議しています。

このような審議テーマの設定を行った経緯から、次のステップで部会名称を決定しました。



■開催経過と検討内容

合計4回の部会を開催しました。

第1回	9名出席	平成22年8月31日(火)
	・宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくりのイメージ等	
第2回	9名出席	平成22年9月30日(木)
	・地産地消の具体的な題材 ・部会名称と部会長	
第3回	10名出席	平成22年12月2日(木)
	・地産地消を通じたコミュニティづくり ・部会の名称	
第4回	8名出席	平成23年1月28日(金)
	・コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり ・区民会議フォーラムの開催について	

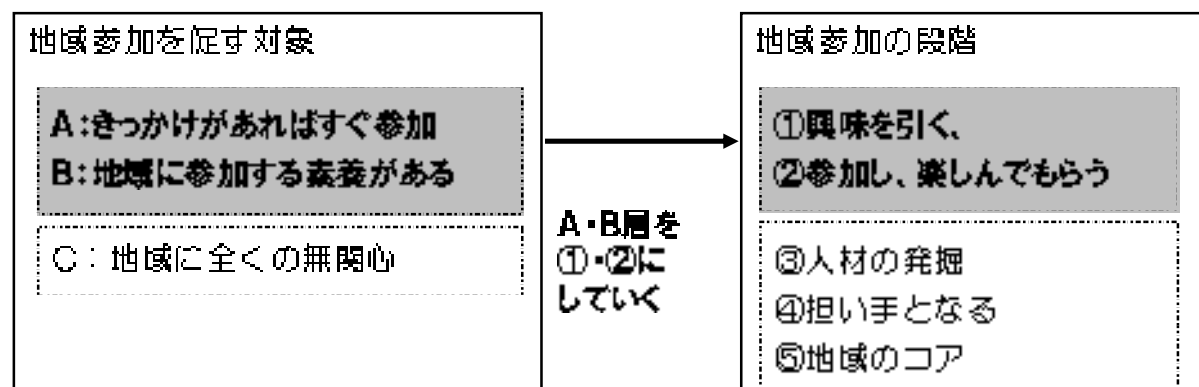
① これまでの検討内容

第1回（平成22年8月31日）

■コミュニティづくりのイメージ

区民のコミュニティへの関わりについて議論した。

地域への参加を促進する対象として、Cを中心にするという議論もあったが、A・Bのタイプを中心に地域参加のきっかけを提供し、①・②にしていくということになった。



第2回（平成22年9月30日）

■地産地消の具体的な題材について

具体的な題材としては以下が出された。

- ◇樹木や緑
- ◇食材や区内の産物を使った料理、お店
- ◇人

これらをもとに、どのように仕掛けていくかを検討する中で題材を絞っていくことになった。

■部会名称、部会長について

名称についてはもう少し内容を固めたいうえで検討することとなった。
部会長については候補者を出したうえで委員長・副委員長に一任する。

第3回全体会（平成22年11月11日）

■部会名称

「地・産・地・消」には同音異句として、
地域に【参加】する、
地域を【知る】、
【笑顔】になる
【紹介】する、【お褒め】する

などが考えられるので、幅広く捉えて議論を進めていきたい。
名称は第3回部会で決定する。

■部会長

- ・企画部会の検討結果を語り、持田委員が部会長に就任

■意見交換

- ・産物については、実際に宮前区に住む区民でなければ知らないようなものを紹介し、地域住民のつながりができるものにしたい。
- ・自分たちが「楽しい」と思えるような提案ならば、きっと広がるし、いろんな人を誘って次のステップに進める。
- ・やはり「地のもの」は元気のもと。
- ・いろいろな団体が上手く連携を取り、区民の横のつながりをつくりたい。
- ・区民マラソンの参加賞に梨や地元の野菜を提供するなど、部会同士のコラボも。
- ・農産物に限定しないで、宮前区の産物を幅広く捉えて進めたい。
- ・居酒屋で宮前区の野菜が好評だったり、安藤園でキウイ発売日に行列ができたり、宮前ロールの例など、仕掛け次第では地産地消の効果はとても大きい。
- ・地元のものを見直す、気付かないものを気付くようにしてあげるとするのが大事。

第3回（平成22年12月2日）

■地産地消を通じたコミュニティづくり

題材、仕掛けづくり、コミュニティづくりについては以下の意見が出された。

題材	仕掛けづくり	コミュニティづくり
イベント	・マラソン時のイベント開催 ・「区民の日」に一斉にイベントを開催する	・ランナー参加 ・ボランティア参加 ・企業・商店街とコラボ
特産品	・料理をする ・直産所等で販売	
名所 特産品	・「宮前区の歌」をつくる ・ミステリーツアー開催 ・講座	・人の発掘、小学校等で歌う
町内会 自治会	・加入キャンペーン	
人	・マイスター制度	
情報	・情報をまとめて発信 ・プロモーションビデオ	

■部会の名称

「地元に参加して知って笑顔になろう」という意味で「地参知笑^{ちさんちしょう}」とする。

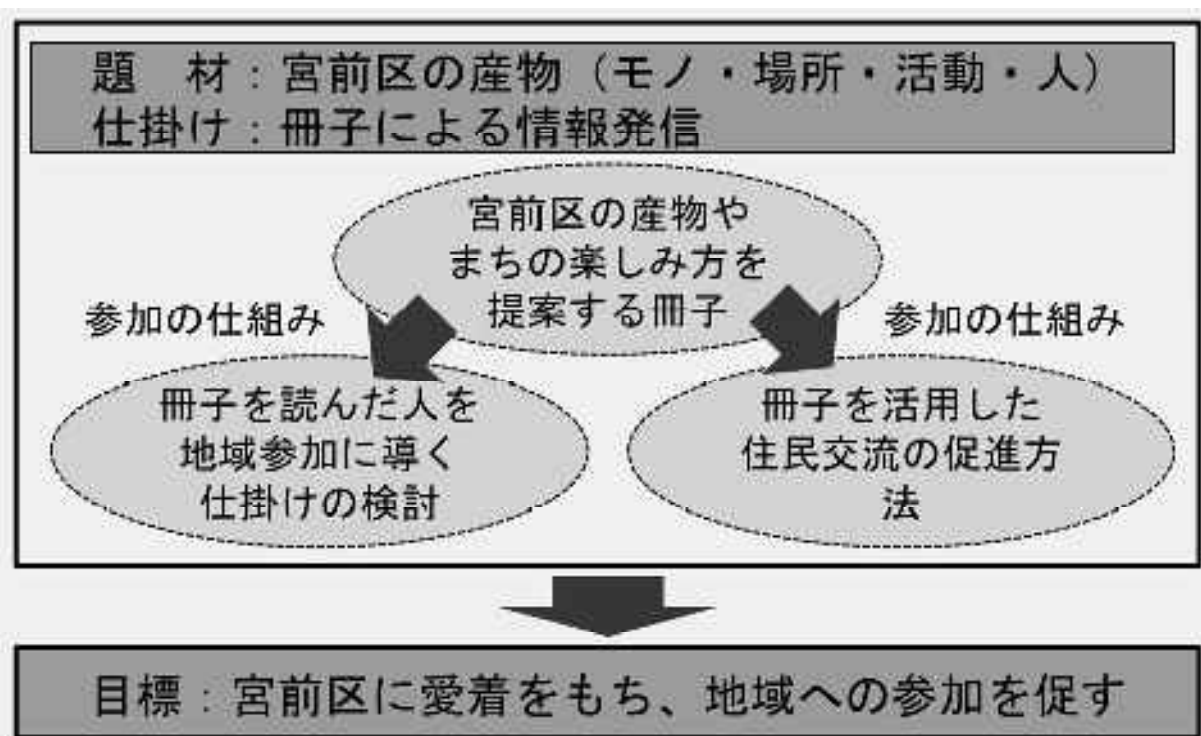
第4回（平成23年1月28日）

■コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり

- ・区民に情報が届いてない、情報を集約してはどうかという意見があった。
- ・新しく宮前区にきた人に区内の産物を紹介するための冊子を検討していく。
（宮前区版「るるぶ」のようなもの）
その際に、記者を募集したり、お祭りなどで参加できることを書き込んだりして、サイレントマジョリティが地域に参加できる仕組みも考えていく。
- ・次回は目次案を検討する。
- ・なお、マラソン等については、活力部会が進めていくということなので、本部会ではコラボして参加して楽しんでもらえるものの提供を検討していく。

② 今後の方向性・取り組み

地産地消から連想する農産物に限らず、幅広い意味で地域の産物を活かし、地域の魅力を知り、地域社会への参加につなげ、笑顔あふれるまちにしていくため、地域社会へ住民が足を一歩踏み出すサポートとして、「モノ・場所・活動・人」などを紹介する冊子を作成し、それを活用して住民が地域へ参加する仕組みを審議していきます。



③ 解決すべき課題

■見たくなるように工夫する

興味深いものを抜粋したり、情報を整理統合したりして、「宮前区版るるぶ」のように、「思わず手に取りたくなる、中身を見たくなる」ものにする必要があります。



■冊子を見てもらいたいターゲットまで届ける仕組み

例えば、宮前区への転入者（年間約 6,000 人程度）に全て手渡す、㈱ゼンリン発行の mi - ru - to を参考に、全世帯にポストイングするなど、冊子を見てもらいたいターゲットに届ける仕組みを検討する必要があります。

■冊子を読んだ人が地域に関わる仕組み

例えば「お餅ついてくれる人募集します！」「お神輿を担いでくれる人募集します！」といったように、冊子を読んだ人が地域に参加するきっかけになるような情報を掲載する必要があります。



■活力づくり部会との連携

活力づくり部会で実施するイベント等と連携して、宮前区の名物をPRできるようにしていく必要があります。

■地参知笑部会 議論ペーパー

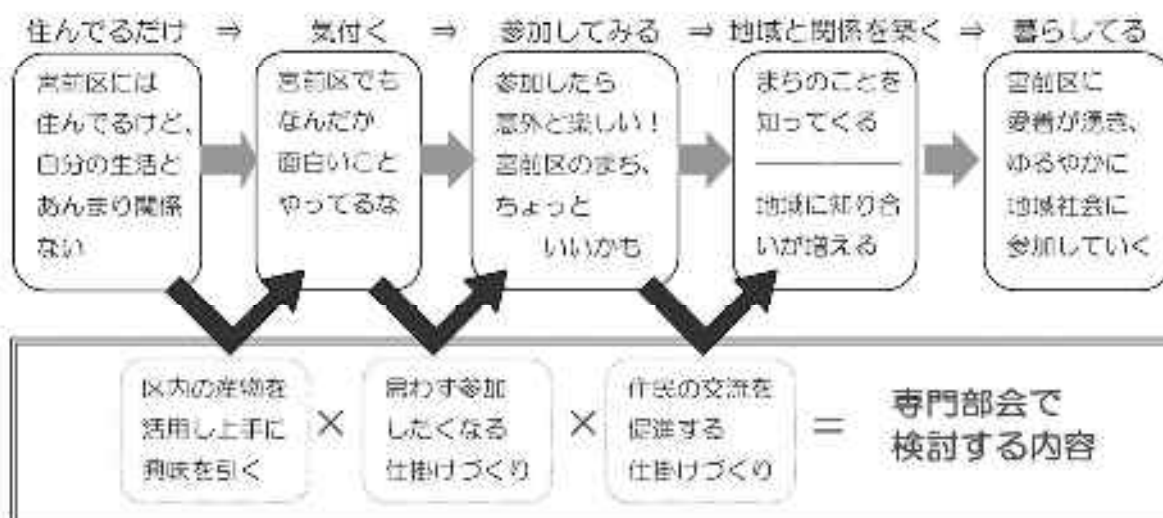
■議論のベース

【当面の目標】 区民が「宮前区」を意識する機会を多くし、愛着や帰属意識をつくる
地域社会と接点を持ち、地域社会に関わる・参加する人たちを増やす

【ターゲット】 今は宮前区と離れた生活をしていても、地域社会に参加する素養のある層

⇒ 宮前区に『ただ住んでるだけ』という意識を、このまちで『暮らしてる』という意識に変えていく

■どうすれば変わる？住民意識



■これまでの主な意見

【人とのつながり】

地域社会への参加は、「人とのつながり」という昔ながらの手法で徐々に引き込んでいくしかない。

【豊富な取り組み】

町会や自治会、神社などで既にいろいろなことが行われているが、それがターゲットとなる区民に上手く伝わっていない。バラバラにやっていて横につながっていない印象がある。

【情報発信】

情報についても数多く発信されているが、やはりターゲットとする区民には届いていない。活動と同じく情報もバラバラなので、集めたものを上手にまとめて発信しては。

【参加が入口】

体験すると楽しさが伝わる。輪番制で割り当てられた役割であっても、中には興味を持つきっかけになることも。

【継続性】

単発のイベントで終わってしまってはダメ。交流には継続性が大事。

【部会名称】

自分たちの住むまちについて、紹介したりお褒めできるくらい愛着を持ち、地域社会に参加し、まちを知って知り合いを増やし、笑顔あふれる地域社会にしていきたいという想いをこめて。

■アイデア

題材	仕掛けづくり	コミュニティづくり
1 既存イベントの 活用・連携	マラソン…（活力部会とコラボ） 沿道で既存のイベントを開催 →短いコースやウォーキング部門も設定 続く仕掛け 有名人に認知度アップ ボランティア参加者に商店街の利用券	ランナーの参加 ボランティアの参加 応援という形での参加も 企業・商店街とのコラボ
	区民の日 既存イベントを区内全域で同時開催	一斉開催で宮前区の魅力PR
2 特産品 （主に食べ物）	料理 →特産品で料理教室 →料理コンテスト →レストラン	
	物産市イベント&直売所マップ （常設ではなく定期的で開催）	イベントで人を集めて区内の産物 認知度をアップ、日常の
3 名所・特産品	宮前区の歌 →特産品や名所を歌詞に盛り込む	人の発掘 小学校などで歌う
	ミステリーツアー →名所を巡りながら謎解き	
	講座	
4 町内会、自治会	加入キャンペーン	
5 人	マイスター制度（演奏、絵など）	
6、 情報	情報をまとめて発信 →インターネット →情報誌 →マップ →宮前カー（巡回する車） →情報拠点（空き店舗等を利用？）	
	プロモーションビデオ →既に映像コンクールで賞状はある	

■宮前区の1年の流れ(行事・イベント一覧)

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	
区役所 市民館 消防署			アリーノフェスタ			ふれあいフェスタ			音生分館まつり					太鼓ミーティング		子ども遊びランド		しあわせを呼ぶコンサート
市・県 各種施設	宮崎台&豊沼・桜祭り	フロントタウンはるまつり		電バス・GWイベント	J A花と緑の園芸まつり	龍ヶ谷・エルカジまつり					東高根・七夕祭			龍沼音楽祭?	フロントタウンなつまつり			
市民活動		平瀬川桜祭り 有馬・桑畑音楽祭						とんもり・森の音楽会			平瀬川七夕サミット							
風物詩	全城・さくら見頃		寺寛院・つつじ見頃			三田緑地・ばら祭			はまき・あじさい見頃		夏季例大祭			盆踊り				
寺社仏閣		泉福寺・花祭り寄席		泉福寺・我楽多市				長尾の里あじさいまつり						寺寛院・子供座禅会				

3月	10月			11月			12月			1月			2月			3月			
下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
			区民祭・北部市場まつり	消防ふれあいフェア	向丘デイスカパーウォーク	青少年作品展・美術展	子育てフェスタ											区民会議フォーラム	みやまえJAM
福ヶ谷・出雲産まつり	福ヶ谷がやがや祭り	れいんぼう祭り	J A花と緑の園芸まつり			J A農業まつり	東高根・収穫感謝祭		電バス・クリスマススイベン	フロントウんふゆまつり									
	とんもり・森の音楽会					有馬川わいわい祭り												映像コンクール	
	秋季例大祭					七五三				除夜の鐘	初詣	どんど焼き			節分				全域・さくら見頃
白幡八幡・禰宜舞	初山の獅子舞			彰向寺・薬師如来の縁日							長尾神社・お納豆							白幡八幡・初詣祭	